

2026年度
水戸市協働事業提案制度わくわくプロジェクト

地域と動物の 共生プロジェクト 2026



いばらきのシッポの幸せの会



団体紹介

団体名:
いばらきのシッポの幸せの会

代表者:
横山 佳代子

活動歴:
10年7ヶ月（2026年1月現在）

会員数:
5人



現状と課題

市民ニーズ

- 野良猫に関する相談が継続的に発生
- 糞尿による生活環境の悪化
- 犬のふんの放置問題
- 飼養頭数・終生飼養の意識不足

解決したいこと

- 繁殖制限の重要性の周知
- 適正な飼養マナーの啓発
- 生活環境の改善
- トラブルの未然防止

2026年度 事業内容

① 飼養ステッカーの増刷・配布

高評価を得た「犬がいます」「猫がいます」ステッカーを増刷し、玄関掲示で飼養の見える化を推進。災害時の迅速な対応や近隣トラブル防止、責任ある飼養意識の醸成を目指します。

② ペット終活・ライフプランシートの新聞折込配布【新規】

新聞折込(約4.3万部)で厚手保存版シートを配布。飼い主が自身の年齢とペットの寿命を直視し、金銭・体力・責任をシミュレーション。切り取り式「携帯セーフティカード」で安心の「見える化」を実現。

ペット終活シートの特徴

高齢層への到達

新聞折込により高齢飼い主層に直接アプローチ(約4.3万部)

携帯カード機能

切り取り式で獣医・緊急連絡先・愛護センター情報を財布に常備可能

ライフプラン設計

ペットの年齢と飼い主の年齢を書き込み、金銭・体力・責任を具体的にシミュレーション

従来の啓発活動から一步踏み込み、
「高齢飼い主の終活」と
「多頭飼育崩壊の未然防止」
に特化した実践的な取り組み



なぜ新聞折込なのか？

SNSに届かない層にアプローチ

飼育者層へ

高齢飼い主（終活の意識）
現役世代（飼養の将来設計）

非飼育者層へも

これから飼う予定の層（事前啓発）
近隣の見守り層（問題の早期発見に繋げる）
エサやり実施層（不妊去勢手術の推進化）

費用対効果

- ・飼育者データベース不要
（個人情報保護の観点でも有利）
- ・高齢層への到達率が高い
（新聞購読世帯の特性）
- ・ペット非飼養世帯への配布により
「近隣の多頭飼養防波堤」を構築する

ペット問題は飼い主だけの問題ではない。
地域全体で取り組むことで、
多頭飼育崩壊・無責任なエサやり・安易な飼育開始を未然に防ぐ

協働による効果

資金面の拡充

単独では困難な規模
での啓発活動が
可能に

信頼性の向上

市が関与することで
市民の受け止め方が
変化

施策との連動

現場の課題を行政施
策に反映する循環を
創出

愛護ボランティア1人が100頭の繁殖制限を行うのではなく、
市民一人ひとりが目に見える範囲で繁殖制限を行うことで
真の効果を発揮

実施スケジュール

時期	内容
4月～6月	事業開始、関係者間協議、ステッカー増刷
6月～9月	ペット終活シート内容協議・デザイン校正
9月～	動物愛護週間に合わせ新聞折込配布開始(約4.3万部)
10月～	多頭飼育崩壊予備軍世帯への個別ポスティング、相談対応
2月～3月	事業振り返り、3年目に向けた検討、実績報告

期待される成果

- ・ 高齢飼い主の終活意識の向上と多頭飼育崩壊の未然防止
- ・ 野良猫数の減少と生活環境の改善
- ・ 適正飼養マナーの定着とトラブル未然防止
- ・ 市の既存施策の認知度向上と活用促進
- ・ 行政・市民団体・市民の三者協働モデルの確立

ご清聴ありがとうございました

水戸市と共に、人と動物が共生できる
やさしいまちづくりを目指します

いばらきのシッポの幸せの会